KAWASAKI COLLECTION

着る服がカワり、
世界がカワる

カワサキコレクション『カワコレ』

内藤一馬　／　木之内裕太

初めまして。

川崎で生まれ育った私たちが、
皆さんと一緒にやりたいことをお話しします。



企画

内藤 一馬



デザイナー

木之内 裕太



企画

内藤 一馬

2002年生まれ・24歳

川崎市幸区／日吉小・日吉中 出身

実家は三代続く「内藤畳店」

出版社で広告をつくっています

好きなもの：音楽・映画・読書



デザイナー

木之内 裕太

2001年生まれ・24歳

川崎市幸区／日吉小・日吉中 出身

完全オーダーメイドの服づくり

内藤とは少年野球のチームメイト

今回、皆さんとやりたいこと

川崎の歴史と市民を繋ぐ
ファッションショー

そもそも

ファッションショーって？

ブランドが新しくつくった服を
モデルが着て、観客の前で披露する
イベントです。

Louis Vuitton／Gucci／Hermès など



目的は、服を宣伝して買ってもらうこと。
ブランドの魅力や世界観を広げること。

つまり、
作り手が商品を売るための
宣伝活動のひとつ。

今回のショーは、何が違うの？

ショーのすべてを、
川崎で生きる人のアイデアで。

洋服　モデル　演出　宣伝　運営

なぜ？

「こんな街だったらいいな」を
つくるのは、
川崎で生きる私たちだから。

皆さんは、川崎市を
どんな街にしたいですか？

エコな街？

住みやすい街？

おしゃれな街？

賑やかな街？

子どもが多い街？

歴史を守る街？

街の「モデルルーム」を
つくりませんか？

「こんな街だったらいいな！」のワクワクを、
ファッションショーで広げたい。

どうやってつくるの？

Be Spoken

服づくりは、
対話から始まる。

お客様に話してもらい、素材から仕立てる
完全オーダーメイドの服づくり。



一人ひとりの人生に、
寄り添う服。

「剣道を長年やっていて、
左右の肩の厚みが違う」

「来月、子どもが生まれる。
危ないものは近づけたくない」

どんな素材からでも、服にできる

700万円

1着700万円のワニ革で、
ジャケットをつくったことも。





素材は、ワニだけじゃない

牛・馬・鹿など、革素材だけでも

10種類以上

服だけでなく、こんなものも手づくり

ワンピース　スカート　ベルト　財布

レザーという素材

着る人の歴史を、残す服。

いちばん長持ちする素材

天然素材だから
環境にやさしい

食用で出る、捨てられる
皮だけを使用

街への願いを、服にする。

エコな街にしたい

住みやすい街にしたい

おしゃれな街にしたい

歴史を残す街にしたい







モデルは？

川崎市民の皆さんが、
ランウェイを歩きます。

協力してくださる方を、探しています。



演出は？

久保田恭智さん

武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科

2025年11月　GOOD DESIGN NEW HOPE AWARD 入賞

「空間・人・物」の関係性を表現

内藤とは、こまどり幼稚園からの幼馴染

空間づくりに協力してくださる方も、
募集しています！

いつ？

2028年3月

予定

どこで？

川崎市
国際交流センター

中原区（検討中）

きっかけ

はじまりは、小さな夢から。

01 木之内の「服飾学校の卒業に合わせて、ショーをやりたい」

02 友人と開いたイベントで感じた、アイデアが広がりきらない限界

ある日の驚き

「良い街にしたい」と思っている人が、こんなにいるなんて。

横井さんのイベントで、市民の皆さんと
「こんな街だったらいいな」を話し合った体験。



同じ街で生きる人が、
この街を想っている。
誇らしい。

それが、もっと広がったらいいな。

正直に言うと

川崎のことは、皆さんほど詳しくありません。
最後にどんな形になるかも、まだ想像の中です。

でも、「こんな街にしたい」という希望を、
たくさんの市民の方が持っている。

その希望を、ファッションショーで形に。

一緒にワクワクする
川崎市を、つくりませんか？

カワサキコレクション『カワコレ』　内藤一馬・木之内裕太